

特定教育・保育施設の利用定員設定について

1. 「利用定員」とは

「利用定員」とは、施設・事業所に支払われる給付費の基本単価等を決定する際に用いられる定員であり、利用定員が少ないほど給付費の基本単価等は高額になります。

なお、利用定員は認可定員（施設・事業の設置の際に認可される定員）の範囲内で定める必要があります。

＜利用定員と認可定員の違い＞

認可定員	教育・保育施設及び地域型保育事業設置の際に認可された定員
利用定員	給付費算定の基礎となる定員 ※年齢別ではなく、認定区分（1号・2号・3号）ごとに設定する。 ※基本的に少ない利用定員の方が子ども1人当たりの給付費単価が高い。

※なぜ「認可定員」と「利用定員」という別々の定員があるのか？

⇒基本的に、認可定員と利用定員は一致させることが前提となる。しかしながら、過疎地域などのように、恒常的に認可定員まで児童が入所しないといった状況にある地域については、利用定員と認可定員を一致させていては経営の実態に合わない低い水準の給付単価が適用されることになるため、利用定員を下げるといった取扱いが考えられる。

＜利用定員と給付費の関係について＞

以下の通り、利用定員が少ない方が、公定価格が高額になります。

※公定価格とは、「保護者からの保育料 ＋ 行政からの給付費」であり、施設が運営する際に要する費用として国が定めています。

仮に同じ人数の子どもを預かっている場合でも、利用定員設定の違いにより、給付費に差が生じます。従って、給付費適正支給の観点から、利用定員は適切に設定する必要があります。

2. 「利用定員」設定における子ども・子育て会議の位置づけ

「利用定員」は、施設設置者等からの申請に基づき本市が定めますが、設定に際しては、子ども・子育て会議での意見聴取を行うことが、子ども・子育て支援法に規定されています。この意見聴取では、設定される「利用定員」が、需要に対し供給過多になり過ぎていないかどうかなどについて、市民の皆様の目線でご意見をいただきます。

3. 利用定員設定に関する法令上の根拠

子ども・子育て支援法（抜粋）

第31条

- 2 市町村長は、前項の規定により特定教育・保育施設の利用定員を定めようとするときは、あらかじめ、第77条第1項の審議会その他の合議制の機関を設置している場合にあつてはその意見を、その他の場合にあつては子どもの保護者その他子ども・子育て支援に係る当事者の意見を聴かなければならない。

第43条

- 3 市町村長は、第1項の規定により特定地域型保育事業（特定地域型保育を行う事業をいう。以下同じ。）の利用定員を定めようとするときは、あらかじめ、第77条第1項の審議会その他の合議制の機関を設置している場合にあつてはその意見を、その他の場合にあつては子どもの保護者その他子ども・子育て支援に係る当事者の意見を聴かなければならない。

4. 意見聴取概要

令和2年4月1日に保育所から、既存幼稚園1園が新制度への意向を希望しているため、利用定員を定めるため、子ども・子育て支援法第31条第2項の規定に基づき宜野湾市子ども・子育て会議にて審議いただくものである。

5. 令和2年4月1日 新制度移行幼稚園

① シオン幼稚園

- | | |
|----------|-----------------|
| (1) 施設名称 | シオン幼稚園 |
| (2) 施設類型 | 幼稚園 |
| (3) 所在地 | 宜野湾市喜友名 1-12-20 |
| (4) 提供区域 | 西側地域（普天間中学校区） |



- | | |
|----------|------------------|
| (5) 移行日 | 令和2年4月1日 予定 |
| (6) 設置者 | 学校法人シオン学園 |
| (7) 代表者 | 理事長 関根 路代 |
| (8) 認可定員 | 100名 |
| (9) 備考 | ○新制度未移行幼稚園として運営。 |

6. 利用定員の設定案について

提供 区 域	施設・事業所		利用定員数										認可 定員
	施設型	施設名	3号			2号			1号			合計	
			0	1	2	3	4	5	3	4	5		
西	幼稚園	シオン幼稚園	0	0	0	0	0	0	25	18	17	60	100

⇒事務局としては、以下の理由により利用定員を設定することとしたい。

- ①認可保育所等においては、認可定員と利用定員が一致する事が一般的であるが、幼稚園においては、多くの園が認可定員まで受入を行っていない状況があり、実情に応じた定員設定をする事となっている。
- ②シオン幼稚園については平成 28 年度～平成 30 年度の過去 3 年間の実績が平均して 58 名のため、60 名の利用定員の設定としたい。